

犬のノミ・マダニを駆除する！

愛犬のノミ・マダニのおすすめ予防・対策

愛犬を苦しめる可能性のある寄生虫であり、ぜひとも対策や駆除の方法を考えておきたいのがノミ・マダニです。犬に寄生するノミ・マダニに関する基礎知識と、駆除するために有効な予防・対策方法についてご紹介していきます。



犬に被害をもたらすノミの種類について



ノミは犬の体表に寄生する「外部寄生虫」と呼ばれる種類であり、翅(はね)がない吸血昆虫です。湿度 50% 以上、温度 13 度～15 度以上の環境があれば、通年で活動します。犬に寄生するノミは、イヌノミ・ヒトノミなどの種類がありますが、ほとんどがネコノミと呼ばれる種類だとされています。ノミの成虫は実は環境中のノミのうち、たったの 5% が見えているにすぎません。卵、さなぎ、幼虫はカーペットや畳の隙間に潜んでいて、成虫になるとまた犬の体に寄生します。



犬に被害をもたらすダニの種類について



犬に寄生するノミや、マダニをはじめとするダニは、吸血によるかゆみや瓜実条虫症やバベシア症など、犬への被害をもたらすだけでなく、人間にも被害をもたらす可能性があるため、注意が必要です。特に、マダニは前出のとおり、SFTS ウイルス(発熱・下痢・嘔吐・腹痛などを発症、重篤な場合は神経症状や出血症状をもたらす、死亡例もみられる)を人にも移す危険性があります。

犬にノミやマダニが寄生しない環境づくりが大切



犬にノミやマダニなどが寄生しないように、日頃から環境を整えることが重要です。犬を室内に入れて飼育している場合は、部屋の掃除・換気・温度や湿度の調整を行って、常に清潔な環境を保つようにしてください。また、ノミ・マダニは熱に弱いため、愛犬が使うベッドやクッションはお湯で洗い、乾燥機にかけるなどを徹底しましょう。一度室内環境にノミが持ち込まれてしまうと、畳やカーペットの隙間にはノミの卵、さなぎ、幼虫が潜み、やがて成虫になるとまた犬に寄生してしまいます。室内のノミのライフサイクルを断つためには、少なくとも 2 か月以上はきっちり駆除薬を用いてノミの駆除を行う必要があります。

・日頃から犬にブラッシングやシャンプーなどを入念に行う

愛犬の散歩帰りなどには、ブラッシングを丁寧に行っておけると、ノミ・マダニを早期に発見することができます。月に 1～2 回のシャンプーも清潔な表皮の環境を整えるのに役立ちますので、ぜひとも習慣付けてください。

・犬のノミ・マダニ対策や駆除に効果のあるアイテムやお薬を活用する

ノミ取りクシ・シャンプー・首輪・スプレー・殺虫剤など、犬のノミ・マダニの対策および駆除に一定の効果がある市販のアイテムを使用する方法も有効です。また、動物病院で処方してもらい、ジャーキーなどの形をしていて食事のように与える「チュアブル(経口錠剤型)タイプ」と、体表に垂らして使用する「スポット(滴下型)タイプ」などを活用したりすることで、ノミダニ対策を効率的に行うことができます。

ノミ・マダニに関する最新情報をチェック!

☑ LINE 公式サイト LINE@友達募集中 →

